

太田一高資料館(旧茨城県立太田中学校講堂)を一般公開します。

毎年恒例の太田一高資料館一般公開の時期になりました。(震災後は平成 26 年より再開)
本校資料館の見所は次の 3 点です。

1 完成から 112 年を迎える国指定重要文化財

- ・東京駅丸ノ内駅舎を設計した辰野金吾たつのきんごの弟子、駒杵勤治こまきねきんじが設計し、112 年前(東京駅に先立つこと 10 年)に完成。(天井の作りなど共通点有り)
- ・講堂は、普通教室とは異なる学校における晴れの場として、外観内装ともにそれにふさわしい作りとなっており、本校資料館は旧制中学の講堂としては貴重な遺構。

2 完成以来本校の歴史を見守ってきたシンボル

- ・平成 2 年に本校資料館として整備され、卒業生から寄せられた貴重な品々等を展示
震災後、展示内容を改め、「資料館が見守った青春—太田一高 110 年の歴史」として、
明治・大正・昭和の学生生活の様子を知ることができる。

3 一般公開にともない、本校所蔵の貴重な美術品を公開

- ・小川芋銭の『貯水池の辺りを行く牛市の群れ』をはじめとして、大正 2 年に本校講堂を訪れた際に書かれた後藤新平の書、横山大観『笹に蛙』などを展示。

記

1 日時 平成 28 年 10 月 19 日(水)～10 月 23 日(日)
午前 10 時～午後 3 時

2 場所 太田一高資料館(旧茨城県立太田中学校講堂)
常陸太田市栄町 58 Tel 0294(72)2115

*講堂として使われていた様子を味わっていただきたく、昨年企画しご好評を得ましたミニコンサートを今年も予定しております。

チェロ 10 月 19 日(水) 10:30～ 12:30～ 14:00～
10 月 21 日(金) 10:30～ 12:30～ 14:00～

ヴァイオリン 10 月 20 日(木) 12:10～
10 月 22 日(土) 14:00～